

研究題目:看護学生のストレス対処能力とソーシャル・サポートの関連

研究機関名:健康発達看護学講座

研究責任者氏名・職名:榊原久孝 教授

個人情報管理者:遠山亜香音

生命倫理審査委員会承認番号:

1. 研究課題の概要

【背景・目的】

本研究では、必修科目数・単位数が多いことや、病棟での実習があることにより、ストレスが他学科の大学生より多いと考えられる看護学生の実際のストレス対処能力を把握するとともに、ソーシャル・サポートの有無を調べることで、ストレス対処能力にはソーシャル・サポートが影響しているのかを調べる。また、大学生活への苦痛や講義への意欲を調査することにより、ストレス対処能力が高いことと、大学生活にどのような影響があるのかを調べる。それらから、看護大学生がストレスの多い学生生活に適応していくためにどのようなアプローチが必要であるかの示唆を得ることを目的とする。

【研究方法】無記名自記式アンケートにより横断研究を実施する。

【対象者】名古屋大学医学部保健学科看護学生 2～3年 約 150名

【研究期間】倫理審査会で承認が得られた日～平成 30年 3月 31日

【実施方法】

名古屋大学医学部保健学科大幸キャンパス内でアンケートを実施し、講義終了後の時間を活用して行う。講義を担当する教員に事前許可を得たうえで、講義室で研究対象者に説明書、質問紙を配布し、本研究の目的、方法、倫理的配慮を説明し、回答した質問紙は回収ボックスに投函していただく

2. 研究に参加した場合に予測される危険・不利益

研究協力は任意であり、研究に参加しなくてもそのために不利益は生じない。また、本調査はアンケート調査であるため特に対象者の身体に危険は生じない。ただしアンケートの回答時間（10分程度）を要する。

3. 倫理的配慮

アンケートは無記名自記式で行い、匿名性を保証する。

アンケートの回答内容は、本研究以外の目的では使用しない。また、研究の発表や論文作成に関しても、個人を特定できるような情報は一切公開しない。

回答いただいたアンケート用紙は、本研究期間中は榊原研究室の鍵のかかったロッカーに厳重に保管し、電子データ化したアンケートの回答内容は、第三者に情報が公開されないよう、パスワードをかけてUSBメモリに保存する。研究終了時はすみやかに廃棄処分する。

2. インフォームド・コンセント

説明書には研究目的、研究方法、起こりうる不利益、倫理的配慮、研究参加は対象者の方の任意であり研究に参加しなくてもそのために不利益が生じることはない旨を記載し、説明書を用いてこれらを口頭で説明する。アンケートは無記名・自記式とし、アンケートの回収をもって、本研究の参加に同意していただいたものとみなす。調査対象者には大学生ではあるが未成年者も含まれるため、研究概要についてHPに公開し、親権者または未成年後見人が拒否できる機会を保障する。